

中小企業の海外展開に商機

県の人材支援事業で市場活性化へ

県内中小企業の海外展開を後押しする県の「グローバル人材確保支援事業」をてこに、市内の人材紹介会社では、中小企業の海外展開に合わせた人材供給ビジネスを活性化している。販路開拓や購買、マネジメントなどの即戦力から、経営方針の構築に参画できる人材まで、中小企業の要望に幅広く応えていこうとしている。

同支援事業は紹介手数料の半額（上限150万円）を県が補助し、採用5件以上に報奨金も用意。事前登録の地元2社含む人材紹介8社を通じて海外進出や取引、現地事情などに精通した即戦力となる人材（県外者対象）を供給する全国初の取り組み。県は9月20日、中区基町の自治会館で商談会を開き、8社の紹介と個別の相談ブースを設ける。

地元2社のうち、紹介が専門でI・Uターナーにも力を入れるライフサイズ（中区大手町）は、インターネットや電子商取引の普及で、現地に拠点が無くても海外展開できる環境から、多言語のサイト運営業務などに需要があるとみる。出資先のリージョナルスタイル（東京）の7社口拠点のネットワークを生かし、広島発の求人需要に応える。人材派

遣が主力のメイツ中国（中区胡町）は、支援事業を機にグローバル人材の扱いを本格化。東日本大震災以降、関東圏からネットを通じ、広島が本社の同社に人材登録するケースがはじめているという。営業職や東南アジアなどの現地駐在員といった当面の需要に対応する一方、海外を経営に取り込もうとする企業に対し中長期的な人材コンサルティングも視野に、ワンストップのサービス体制を整えていきたいとしている。

リクルートエージェント中国支社広島オフィス（中区立町）は既に1人成約。新卒のケースで、企業の長期戦略に海外志向の強い人材の需要に応えた。数年前からアジア中心に、海外向け人材紹介が少しずつ拡大。グローバル人材の営業は現在全社150人体制で2年目に入った。商社任せから自社で海外展開する動きが活発化するとみる。模索中なのか進出10年経過なのか状況に合わせた提案を進める。海外に拠点展開するマンパワーグループの広島支店（中区袋町）は、1社からセールスエンジニアや品質管理など10ポストの要望もあるという。販路開拓をはじめバイヤー、海外拠点関連のほか、経営にかかわれるスキルを持った人材獲得も重視。

紹介事業売上全国2位というインターネット中国支社（中区大手町）は、広島地区は大手向けが主力で事業規模は小さいが、これを機に県内企業の人材需要を掘り起こそうと、増員も計画。Iターナーも含め、全国規模の人材登録を強みに多様な人材要望に対応していきたいとしている。グループを通じて海外10地域34拠点で人材サービスを展開してい

るパソナ（中区紙屋町）は、ネットワークとノウハウを活用し、県内企業向けを強化していく。

紹介会社では同支援事業スキームを評価する声が多い一方、東名阪に比べ低い賃金水準が採用のネックになるという指摘も。県内中小企業の海外進出意欲も引き出し、紹介会社の新たな市場開拓につながりそうだ。